

公財全高農 農場協会新聞

4号

発行所
公益財団法人
全国学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

生徒の出番だ！ 先生も頑張るぞ！

特集号

“生徒の出番だ”

- ・第12回エッセイコンテスト
- ・第3回フットコンテスト
- ・第4回和牛甲子園

第12回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト

第12回エッセイコンテスト審査会が令和2年12月16日 審査員・公益財団法人全国学校農場協会理事 日置司明・全国高等学校農場協会会長 荏塚光信・日本農文学会 会長 間山三郎・全国高等学校農場協会事務局長 須賀秀次の厳正なる審査の結果、エッセイコンテストの入賞者が決定いたしました。

- ・応募総数 20編
 - ・表彰 最優秀賞 1編
 - ・優秀賞 3編、佳作 2編
- が決定いたしました。

◎最優秀賞

『「放置竹林」解決のために私達にできること』
長崎県立諫早農業高等学校

2年 上夷 胡桃

◎優秀賞

『日本一のイチゴ農家を目

指して』

群馬県立利根実業高等学校
3年 大津 俊介

◎優秀賞

『経験く手打ちそば部から得られたこと』
栃木県立栃木農業高等学校

2年 近藤 大斗

◎優秀賞

『霜月祭りが育む人と地域、そして未来へ』
長野県下伊那農業高等学校

2年 林 宗汰

・佳作

『ミズバシヨウに魅せられてく玉原高原のミズバシヨウを守る活動』
群馬県立利根実業高等学校

2年 立木 愛梨

『対馬のために』今“私ができること”
長崎県立諫早農業高等学校

2年 石丸 陽翔

第12回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト・講評

「夢をかなえるために」

日本農文学会会長

間山三郎

高校生の書いたエッセイを審査する機会を与えられ

たことに感謝しながら、読ませていただいた。読みだしてみると、感心することばかりで、優劣などつけようがないと感じた。それほど書かれた作品には、夢があり将来を見据えて、夢を実現するための方向まで考えている。素晴らしいエッセイでありました。

四人の審査員の前に送っていただいた結果から、三人の作品がオールAであった。その三つのエッセイは、それぞれ異なる輝きを持っていた。最優秀賞に選ばれた上夷胡桃さんの「『放置竹林』解決のために私達にできること」は、「放置竹林」の危険性を示し、大勢の人の協力を得て、問題となる竹の有効利用を科学的手法で証明し、数字で結果を出したことだ。その結果には味性はない。

優秀賞の天津俊介さんの「日本一のイチゴ農家を目指して」は、文章に勢いを感じた。それととても良い家族の姿があった。今後のことを考えて、トマトの栽培を取り入れた複合経営を

目指すという。「頑張れ」とエールを送りたくなる作品だ。

同じく優秀賞の近藤大斗さんの「経験く手打ちそば部から得られたこと」。高校にそば打ち部があるのも知らなかったが、そば打ち選手権の全国大会があると聞いて、野球やサッカーだけでなく、青春をかけているんだと驚いた。そば打ちにかけた青春、こちらも嬉しくなってきました。

最後の優秀賞作品は、林宗汰さんの「霜月祭りが育む人と地域、そして未来へ」に決まった。長野県の中でも過疎化の進んでいる遠山郷の「霜月祭り」は、約八百年前から続いている。夜通し行われる祭りの重要性を説き、村おこしに役立てようとする考えに、私も賛成する。

佳作は二作品。立木愛梨さんの「ミズバシヨウに魅せられてく玉原高原のミズバシヨウを守る活動」。立木さんはミズバシヨウをシカから守るメンバーとして活動している。石丸陽翔

さんの「対馬のために」今、私ができること」。対馬にしか自生していない植物をイノシシやツシマジカの食害から守るという活動を通して生まれた作品だ。

他にも素晴らしい作品が多かったということは、最初に触れた通りで、見習わなければいけないのは、私たち大人なのだと思わした。高校生が書いた力のこもったエッセイが、一人でも多くの人に読まれることを願ってやまない。

第6回農業関係高等学校 農業農村フォトコンテスト

第6回フォトコンテスト審査会が行われ、入賞者が決定いたしました。

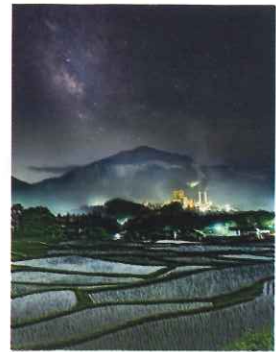
審査員 公益財団法人全国学校農場協会理事長 日置司明 全国高等学校農場協会会長 菲塚光信

棚田学会会長 山路永司 写真家・棚田学会安井一臣

(生徒の部)

◎最優秀賞 『人と自然と宇宙の力』 埼玉県立秩父農工科学高等

学校 堀内 晴
最優秀賞 堀内さんの作品



◎優秀賞 『ひみつの散歩道』 埼玉県立熊谷農業高等学校 若原 美和子

◎優秀賞 『風の通り道』 埼玉県立熊谷農業高等学校 細田 真奈

◎佳作 『緑の園』 埼玉県立熊谷農業高等学校 拝野 かりん

◎佳作 『親友』 栃木県立栃木農業高等学校 根岸 颯土

◎佳作 『Harvesting rice』 静岡県立田方農業高等学校 成川 翔

(職員の部)

◎最優秀賞 『収穫の日』 埼玉県立熊谷農業高等学校 野口 昌俊

◎優秀賞 『木島平を守る高社山』 長野県下高井農林高等学校 藤巻 善之

最優秀賞 野口さんの作品



◎優秀賞 『3人娘+αで美味くい！』 高知県立四万十高等学校 高橋 恵子

第4回和牛甲子園 祝優勝 鹿児島県立市来農芸高等学校

令和3年1月15日に、東京都千代田区(アグベンチヤーラボ)・港区(東京食肉市場)にて18県33校、和牛47頭にて、開催されました。

審査方法

体験発表会での発表内容を競う取組評価部門の得点(50点満点)と、出品牛の肉質審査で競う枝肉評価部門の得点(50点満点)との合計点数(100点満点)による

り最優秀賞1校を決定しました

総合評価部門 最優秀賞 【二連覇】鹿児島県立市来農芸高等学校



取組評価部門 最優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校

優秀賞 2校 愛知県立渥美農業高等学校 山口県立大津緑洋高等学校

優良賞 3校 佐賀県立唐津南高等学校 山形県立村山産業高等学校

岩手県立水沢農業高等学校 審査員特別賞 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

高校牛児特別賞 鹿児島県立市来農芸高等学校

優良賞 2校 栃木県立鹿沼南高等学校 岐阜県立飛騨高山高等学校

優良賞 3校 岩手県立水沢農業高等学校 島根県立賤母農林高等学校

優良賞 3校 岩手県立水沢農業高等学校 島根県立賤母農林高等学校



愛知県立渥美農業高等学校



山口県立大津緑洋高等学校

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

審査委員特別賞

岩手県立水沢農業高等学校

”先生も頑張るぞ”

・全国大会

・支部大会

・農業実験実習講習会

・免許法認定講習会

令和3年度

全国高等学校農場協会

第70回全国大会並びに

研究協議会

6月3日(木)～6月4日(金)

星稜会館(予定)

(千代田区永田町)

※コロナ禍の状況を鑑み、一般会員の参加自粛に御理解とご協力を願います。

令和3年度

全国高等学校農場協会

支部大会《実施計画》

〔期日・会場・事務局〕

第25回北海道支部大会

7月27日(火)～7月28日(水)

マリエール 函館

北海道大野農業高等学校

第19回東北支部大会

8月18日(水)～8月19日(木)

八戸プラザホテル

青森県立三本木農業高等学校

第70回関東支部大会

8月17日(火)～8月18日(水)

静岡県男女共同参画センター

―「あざれあ」―

静岡県立磐田農業高等学校

第45回北信越支部大会

8月5日(木)～8月6日(金)

ホテルグランテラス富山

富山県立小矢部園芸高等学校

第22回近東支部大会

7月29日(木)～7月30日(金)

ホテル明山荘

愛知県立安城農林高等学校

第68回中国支部大会

8月17日(火)～8月18日(水)

ニューウエルシテイ出雲

島根県立出雲農林高等学校

第52回四国支部大会

8月19日(木)～8月20日(金)

ホテルグランドパレス徳島

徳島県立城西高等学校神山校

第67回九州支部大会

8月19日(木)～8月20日(金)

鹿児島県立市来豊雲高等学校

令和3年度第65回

農業実験実習講習会

受付4月1日(木)～

6月1日(火)

《実施計画》

科目・会場・期日・事務局校・内容

北海道地区

「農業と環境」

帯広畜産大学

8月2日(月)～8月6日(金)

北海道帯広農業高等学校

内容「日本農業の課題・農業機械のスマート化・ロボットトラクター等視察」

東北地区

「食品化学・食品製造・微生物利用」

弘前大学 農学生命科学部

8月16日(月)～8月20日(金)

青森県立五所川原農林高等学校

学校

「食品の科学と機能・食品微生物の発酵試験他」

「農業と環境」

関東地区

「農業と環境」

茨城大学 阿見キャンパス

8月23日(月)～8月27日(金)

茨城県立鉾田第二高等学校

「耕地の持続的利用に向けた管理・動物のストレスや問題行動の解決他」

近東地区

「農業と環境」

岐阜大学

8月23日(月)～8月27日(金)

岐阜県立岐阜農林高等学校

「発酵食品中の菌叢解析・樹木の葉の環境応答神経と筋の性質他」

中国地区

「農業と環境」

島根大学生物資源科学部

8月16日(月)～8月20日(金)

島根県立松江農林高等学校

「職と農業・生活と農業・農業生物の栽培他」

九州地区

「農業と環境」

九州沖縄農業研究センター

(筑後・久留米研究拠点)

8月2日(月)～8月6日(金)

福岡県立福岡農業高等学校

「暖地及び亜熱帯に属する九州・沖縄地域における野

「環境」「人」の分野のプロフェッショナルを育成します

環境園芸学部
環境園芸学科
人間発達学部
子ども教育学科

宮崎
キャンパス

健康栄養学部
管理栄養学科
食品開発科学科



南九州大学
MINAMI KYUSHU UNIVERSITY

郡城キャンパス: 平885-0035 宮崎県都城市立野町3764番地1
宮崎キャンパス: 平880-0032 宮崎県宮崎市藤島5丁目1-2
お問い合わせ [企画広報課(宮崎キャンパス)]

TEL 0120-3739-20

南九州大学 検索

http://www.nankyudai.ac.jp

半透明のカバーだから良く見える
攪拌羽根を外して丸洗いOK!
攪拌スピード4段階!



三研のバターチャン
FJ10 (手動式)

株式会社三研
農業 畜産 科学
食品加工機器

TEL 03-6450-0327

FAX 03-6450-0326

〒143-0014 東京都大田区大森中3-36-8

Sanken
http://www.hi-sanken.com
sanken@hi-sanken.com

菜の生産技術等に関する講義・実験実習を行う。」

農業教育推進に向けた諸課題の改善要望 令和2年度要望事項

《重点要望事項》

I「農業教育の質的向上に必要な条件整備」の要望

- 先進農家や農業法人および農業関連企業等での教員の継続的な研修の推進
- 農業科教員の海外研修の機会の拡充
- 優れた知識・技術を有する教職員の確保に向けた対策

《継続要望事項》

II「時代の進展に対応した農業施設・設備の整備のための予算措置」の要望

- 時代の進展に対応した施設・設備への速やかな更新

- 国際競争力を高めるために国内外で必要とする認証取得を実現するための経費の補助
- 地域創生を目指すために必要とする先進技術の充実を図るための施設・設備の導入

III「農業を学ぶ高校生への先進的農業教育推進」の要望

- 農業・農業関連産業の従事者・経営者等の活用に向けた予算面での支援の充実
- 高校生の海外派遣研修への機会と予算面の支援の拡充
- 農業及び農業教育の理解・啓発を推進するための予算面での支援の充実

IV「農業教職員の確保・充実と待遇の改善」の要望

- 産業教育手当の継続的な支給
- 特殊性の高い職務であることに配慮した特別手当の支給
- 施設・設備及び学校農場の規模等を踏まえた農業

教職員の確保と充実
《成果と課題》

令和元年度より継続要望事項に掲げて活動して参りました上記の要望事項Ⅱが、農林水産高校を応援する会のご支援並びに関係省庁の御尽力により、令和元年度文部科学省補正予算に対する申請に提出された県数が12府県で31件の要望件数(温室・牛舎・実習室等)が受理されました。この場をかりて御礼申し上げます。課題といたしまして、全

県の要望が提出・受理されたものではなく今後とも各県教委とのより密接で計画的に要望活動を続けていくことが必要不可欠となります。

免許法(実習助手)単位認定講習の開講

免許法認定講習を本年度も実施する予定です。なお、開講大学は、北海道酪農学園大学と東京農業大学です。開講科目・期日・申込受付

など、講習の詳細は五月下旬に発表される実施要綱に従って下さい。

《事務局より》

【会費の納入について】

◎休職者の会費の取扱いについて

◇会費の徴収は、会則で定められています。休職者についてはその規定がありません。最近休職者の会費について問合せがあり、先般常任理事会で協議した結果、「5月1日時点で休職(病休・育休)が分かっている会員については当該年度の会費の徴収を免除し、名簿記載を行う」との原案で会則に附記するとの結論を得ました。これを原案として令和2年度全国大会総会に建議する予定でしたが、新型コロナウイルス感染の拡大に伴って全国大会が中止となりました。

つきましては令和2・3年度における休職者の会費徴収については前記原案に準じて対応いただきたくお願いいたします。

人類が直面する問題に答える。それが実学。

温暖化、資源枯渇、食料危機、絶滅危惧種の増加など研究対象は農学を起点に、あなたが想像する以上に広がりを見せています。このような問題に答えていく学びや研究を在学中に体験することを実学と呼んでいます。人類が直面する問題に答えていく人材を世の中に還していくことが東京農大の普遍的な使命なのです。



東京農業大学
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE
〒156-8502東京都目黒区板根1-1-1
https://www.noda.ac.jp/

農学部 応用生物科学部 生命科学部
地域環境科学部 国際食料情報学部 生物産業学部